

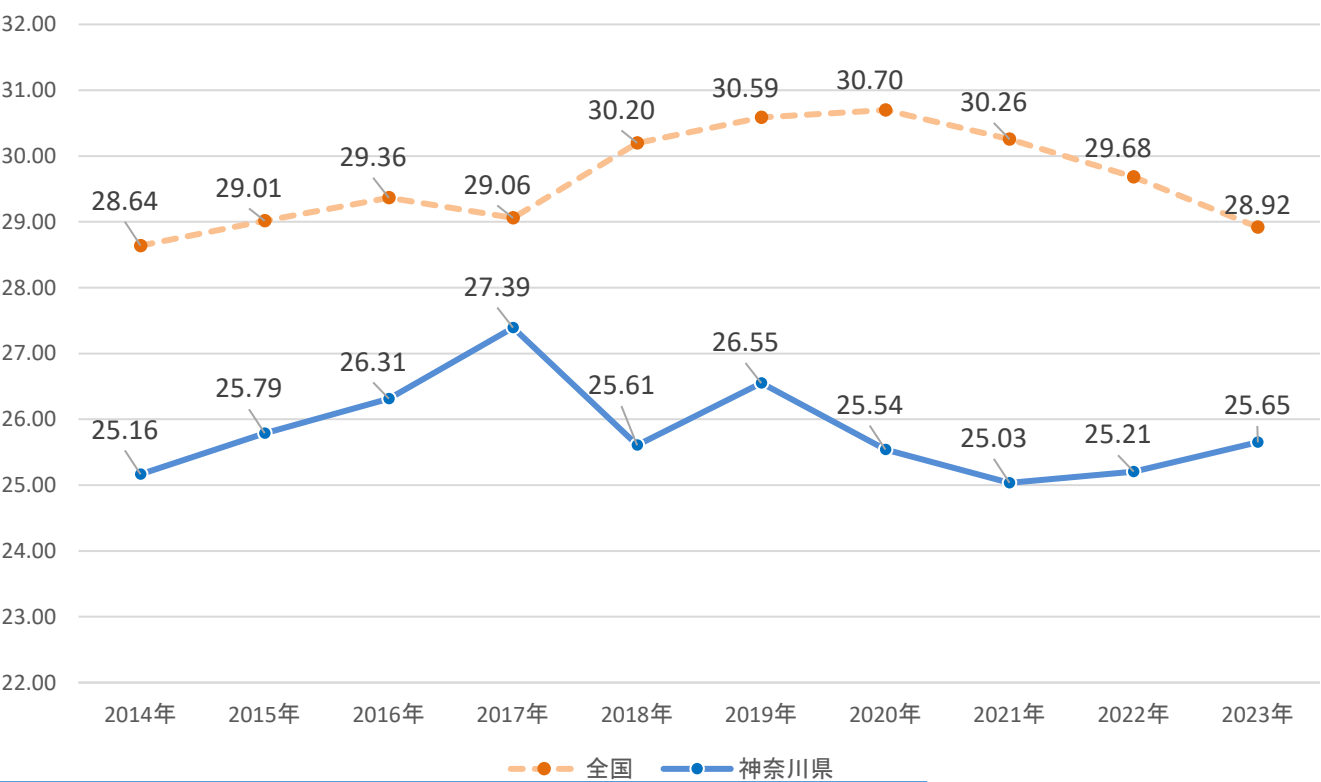


報告（１） 慢性腎臓病（CKD）の現状について

(1) 神奈川県と全国の比較

○新規透析導入患者数（原疾患：糖尿病性腎症を含むすべて）

人口10万人対の推移



2017年より神奈川県は減少傾向であったが、
2021年～2023年では再び増加傾向にある。
人口300万人以上の都道府県では東京に後れをとる形となった。

他都道府県との比較（2023年）

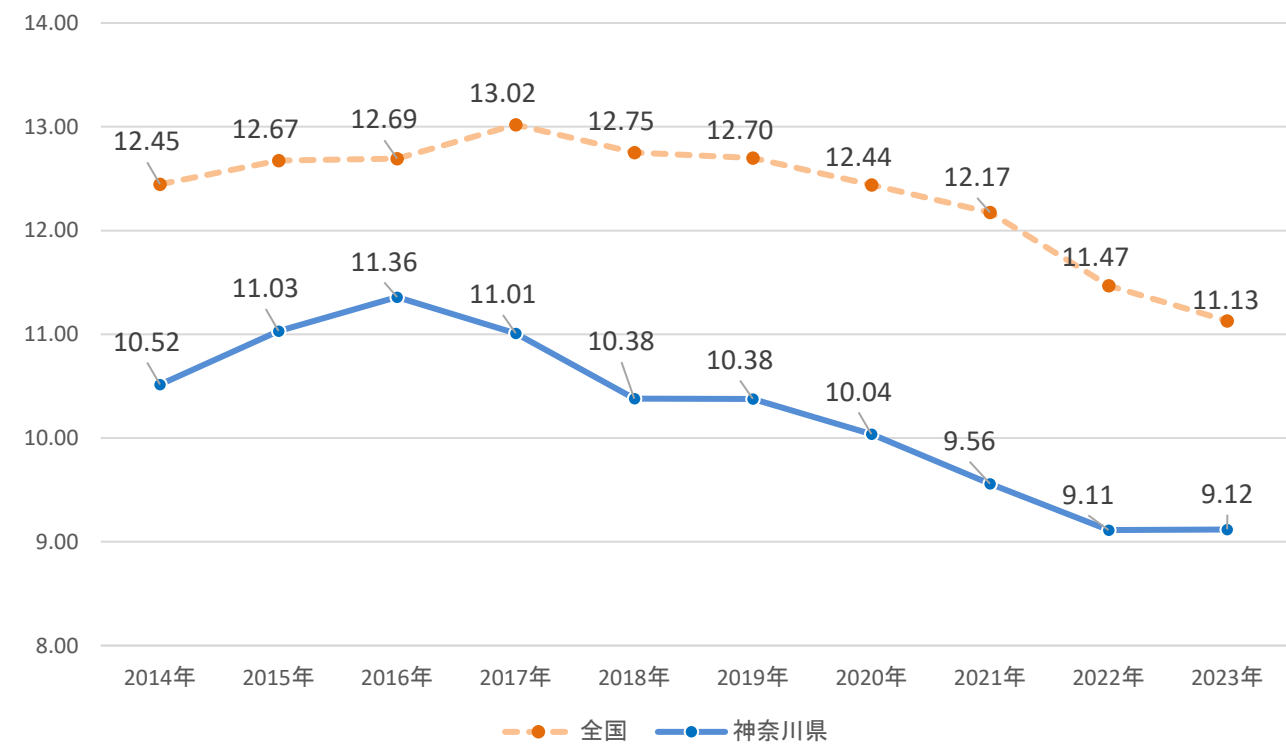
都道府県	新規透析導入患者数	人口10万人対	全国順位
新潟県	487	22.78	1
石川県	256	23.07	2
三重県	425	24.18	3
福井県	182	24.18	4
宮城県	552	24.61	5
東京都	3,462	24.88	6
神奈川県	2,367	25.65	8
大阪府	2,490	28.37	16
高知県	311	46.03	47

出典：「わが国の慢性透析療法の現況（2023年12月31日現在）」（日本透析医学会）を基に県がん・疾病対策課が作成

(1) 神奈川県と全国と比較

○新規透析導入患者数（原疾患：糖尿病性腎症）

人口10万人対の推移



2016年より神奈川県は減少傾向であったが2023年には増加に転じた。
人口300万人以上の都道府県では最も少ない

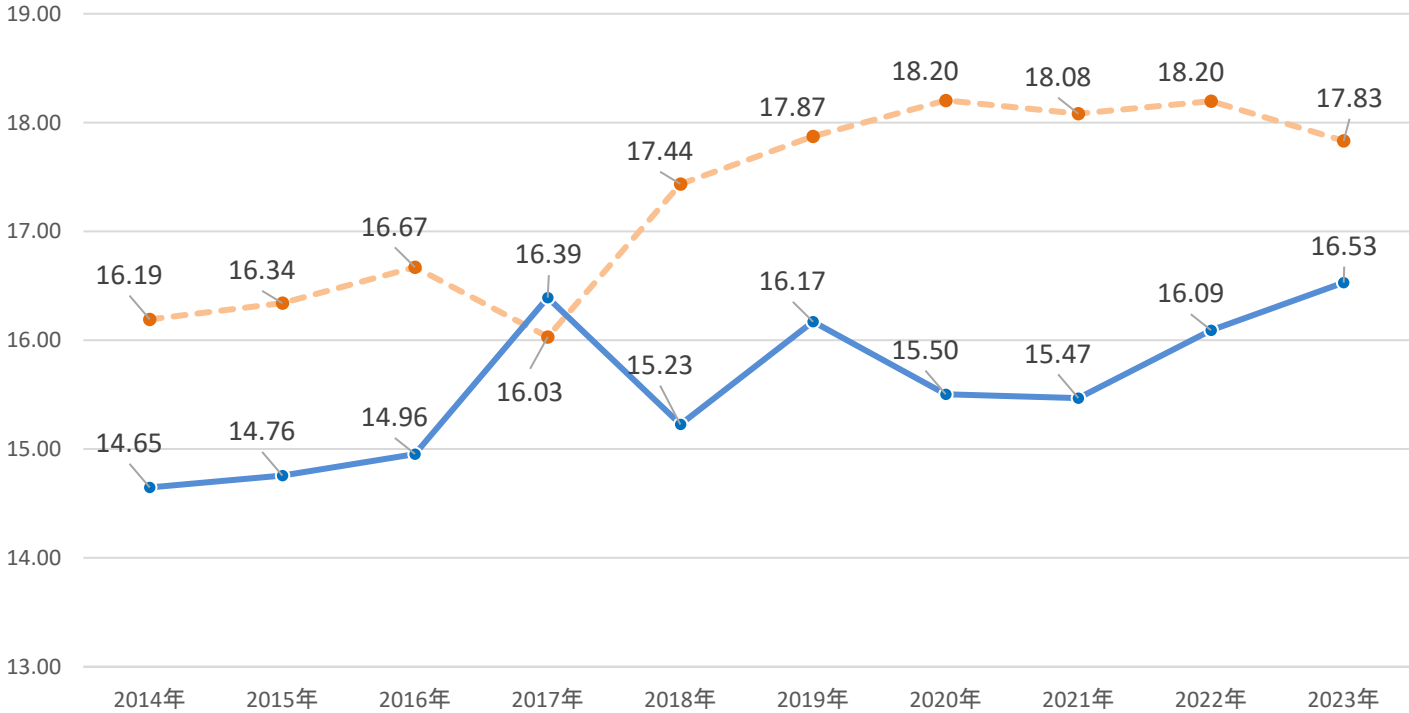
他都道府県との比較（2023年）

都道府県	新規透析導入患者数	人口10万人対	全国順位
新潟県	157	7.34	1
石川県	90	8.11	2
沖縄県	130	8.75	3
山梨県	72	8.92	4
宮城県	203	9.05	5
神奈川県	842	9.12	7
東京都	1,292	9.28	8
大阪府	999	11.38	28
栃木県	347	18.10	47

(1) 神奈川県と全国と比較

○新規透析導入患者数（原疾患：糖尿病性腎症以外【高血圧やウイルス性疾患等】）

人口10万人対の推移



全国は横ばいであるものの、神奈川県は2022年から引き続き増加傾向
人口300万人以上の都道府県では、東京、愛知に次いで3番目に少ない

他都道府県との比較（2023年）

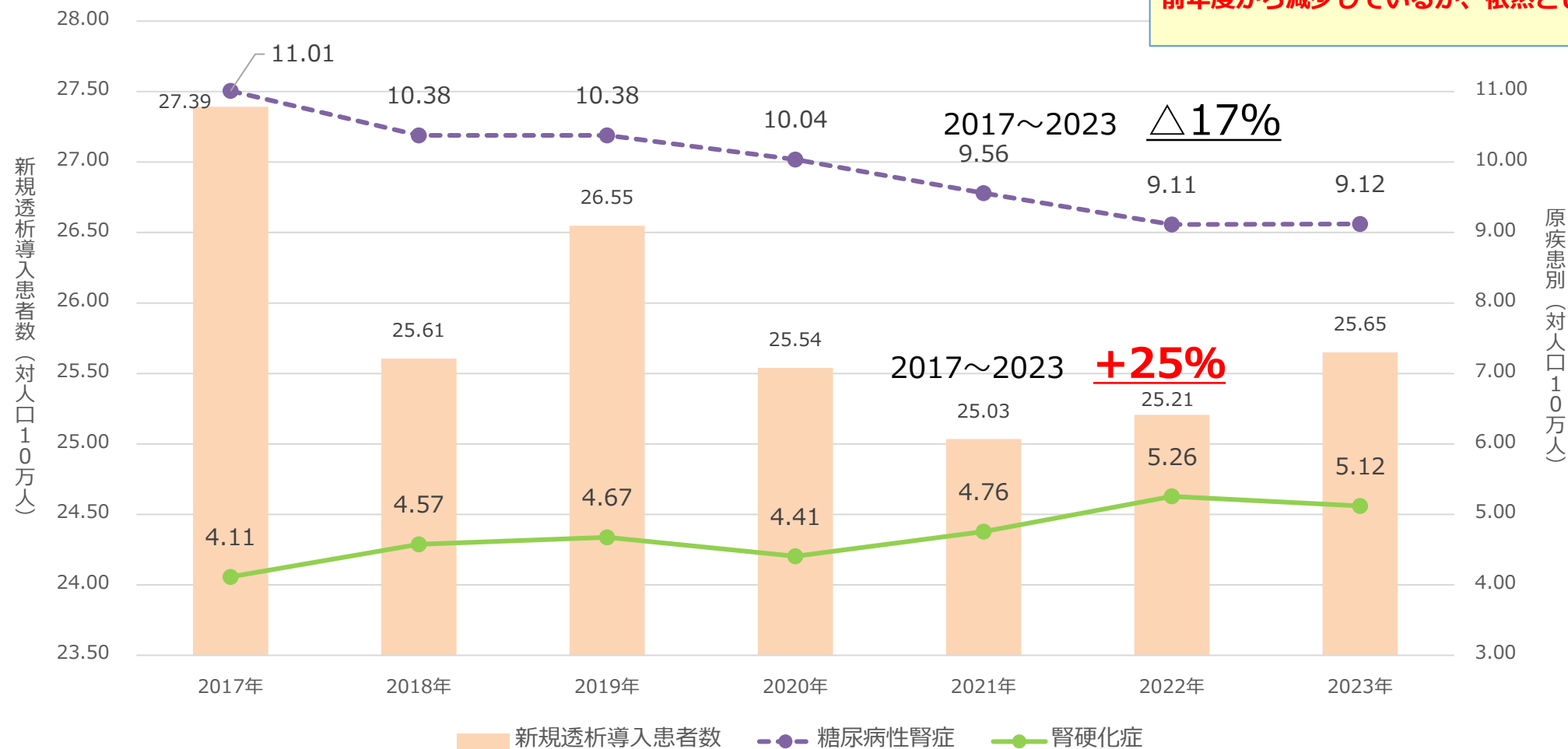
都道府県	新規透析導入患者数	人口10万人対	全国順位
三 重 県	231	13.14	1
福 井 県	101	13.42	2
熊 本 県	254	14.69	3
石 川 県	166	14.96	4
京 都 府	382	15.35	5
東 京 都	2,170	15.59	9
神奈川県	1,525	16.53	12
大 阪 府	1,491	16.99	14
高 知 県	213	31.52	47

出典：「わが国の慢性透析療法の現況（2023年12月31日現在）」（日本透析医学会）を基に県がん・疾病対策課が作成

(2) 神奈川県の新規透析導入患者数等の現状

○原疾患別（糖尿病性腎症、腎硬化症）

腎硬化症を原疾患とする新規透析導入患者数は、前年度から減少しているが、依然として増加傾向にある

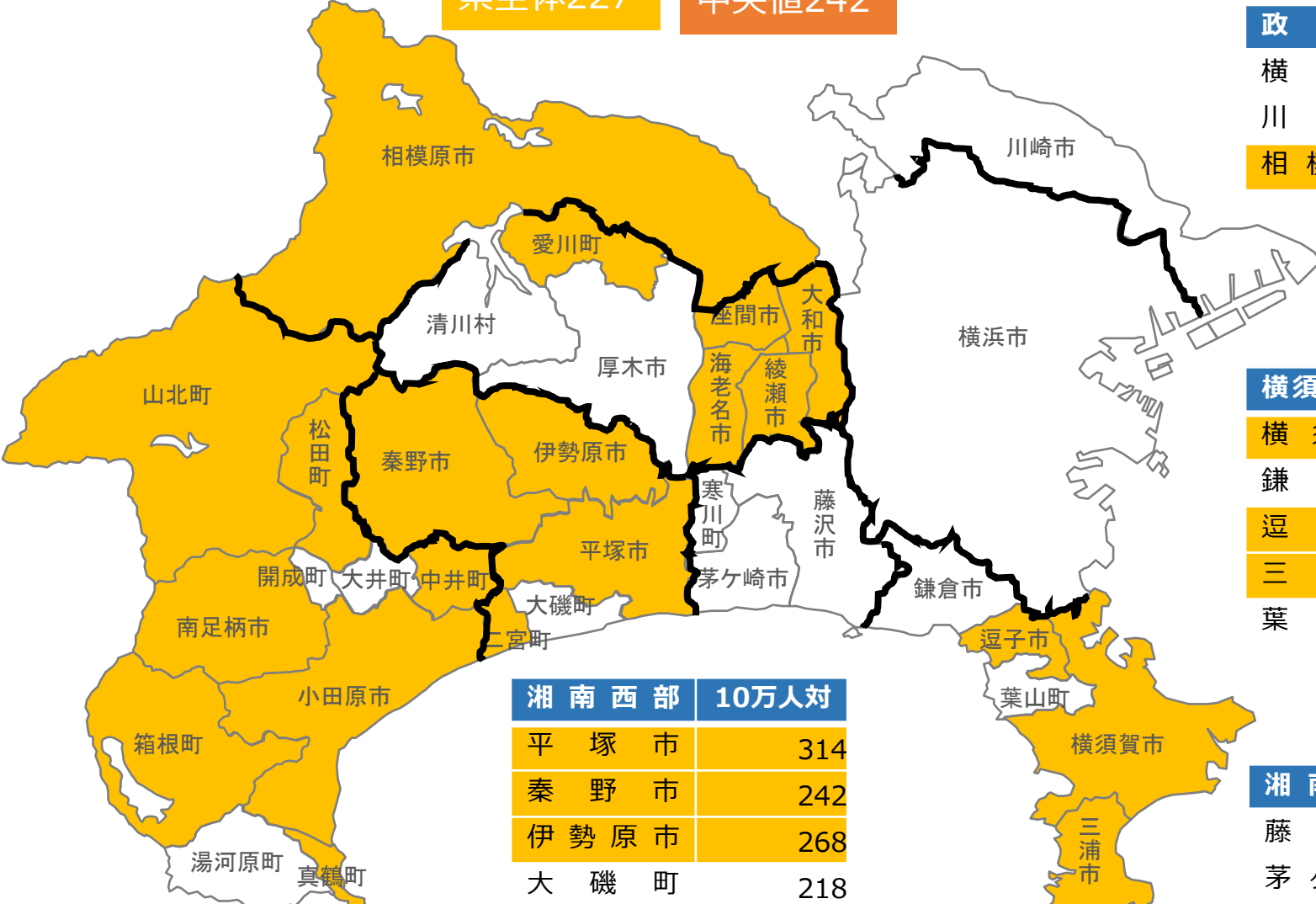


(3) 各市町村の人口10万人対の透析患者数（令和6年10月1日時点）

県 央	10万人対
厚 木 市	203
大 和 市	253
海 老 名 市	234
座 間 市	271
綾 瀬 市	266
愛 川 町	319
清 川 村	70

県 西	10万人対
小 田 原 市	264
南 足 柄 市	300
中 井 町	236
大 井 町	221
松 田 町	361
山 北 町	429
開 成 町	214
箱 根 町	249
真 鶴 町	308
湯 河 原 町	186

県全体227 中央値242



政 令 市	10万人対
横 浜 市	218
川 崎 市	188
相 模 原 市	266

横須賀・三浦	10万人対
横 須 賀 市	354
鎌 倉 市	180
逗 子 市	240
三 浦 市	395
葉 山 町	225

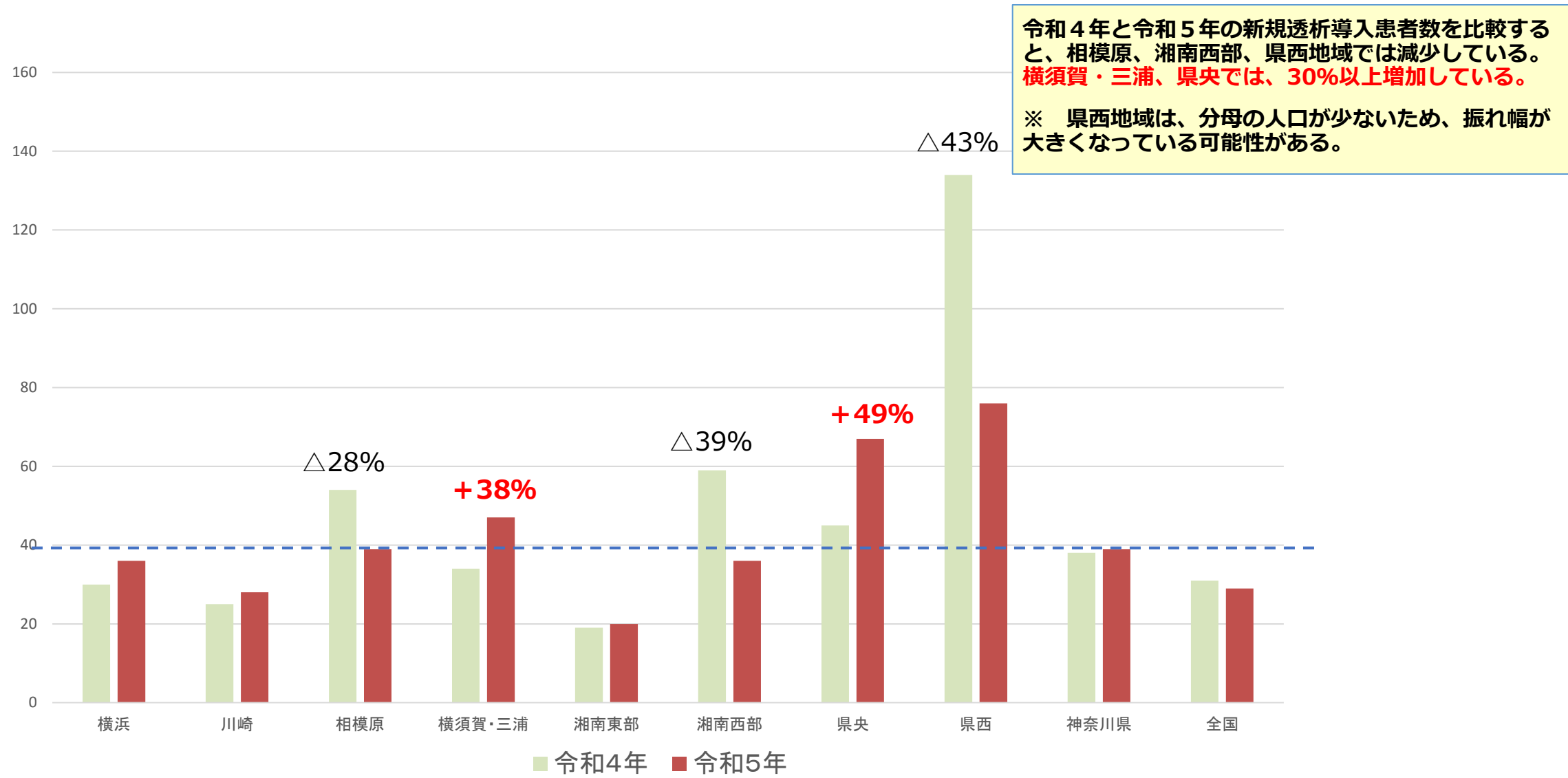
湘 南 西 部	10万人対
平 塚 市	314
秦 野 市	242
伊 勢 原 市	268
大 磯 町	218
二 宮 町	248

湘 南 東 部	10万人対
藤 沢 市	167
茅 ヶ 崎 市	211
寒 川 町	225

Kanagawa Prefectural Government

出典：令和6年度人工腎臓保有状況等調査結果（回答率97.1%）を基に県がん・疾病対策課が作成

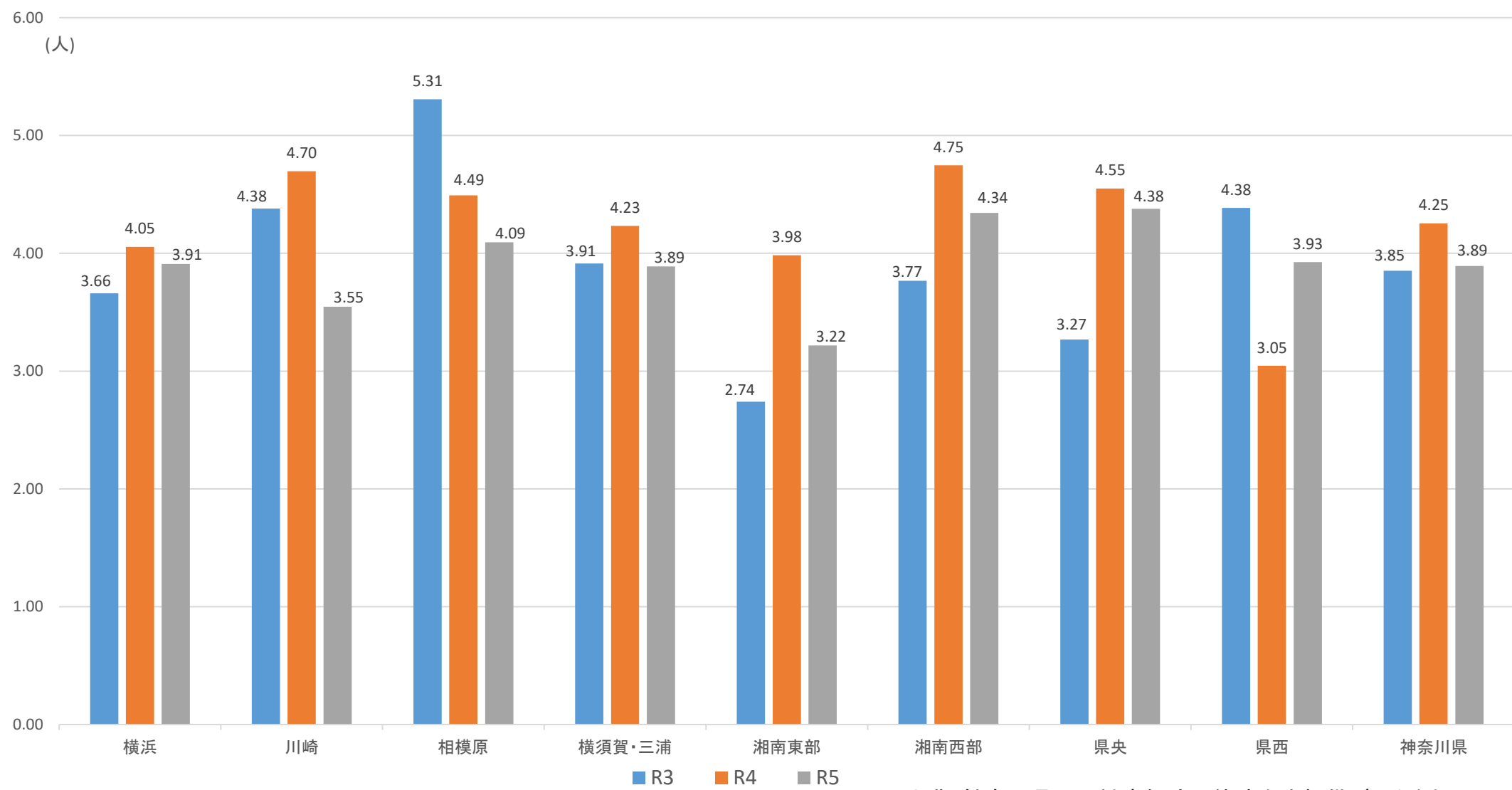
(4) 人口10万人対の新規透析導入患者数（二次保健医療圏別）



Kanagawa Prefectural Government

出典：令和6年度人工腎臓保有状況等調査結果（回答率97.1%）を基に県がん・疾病対策課が作成

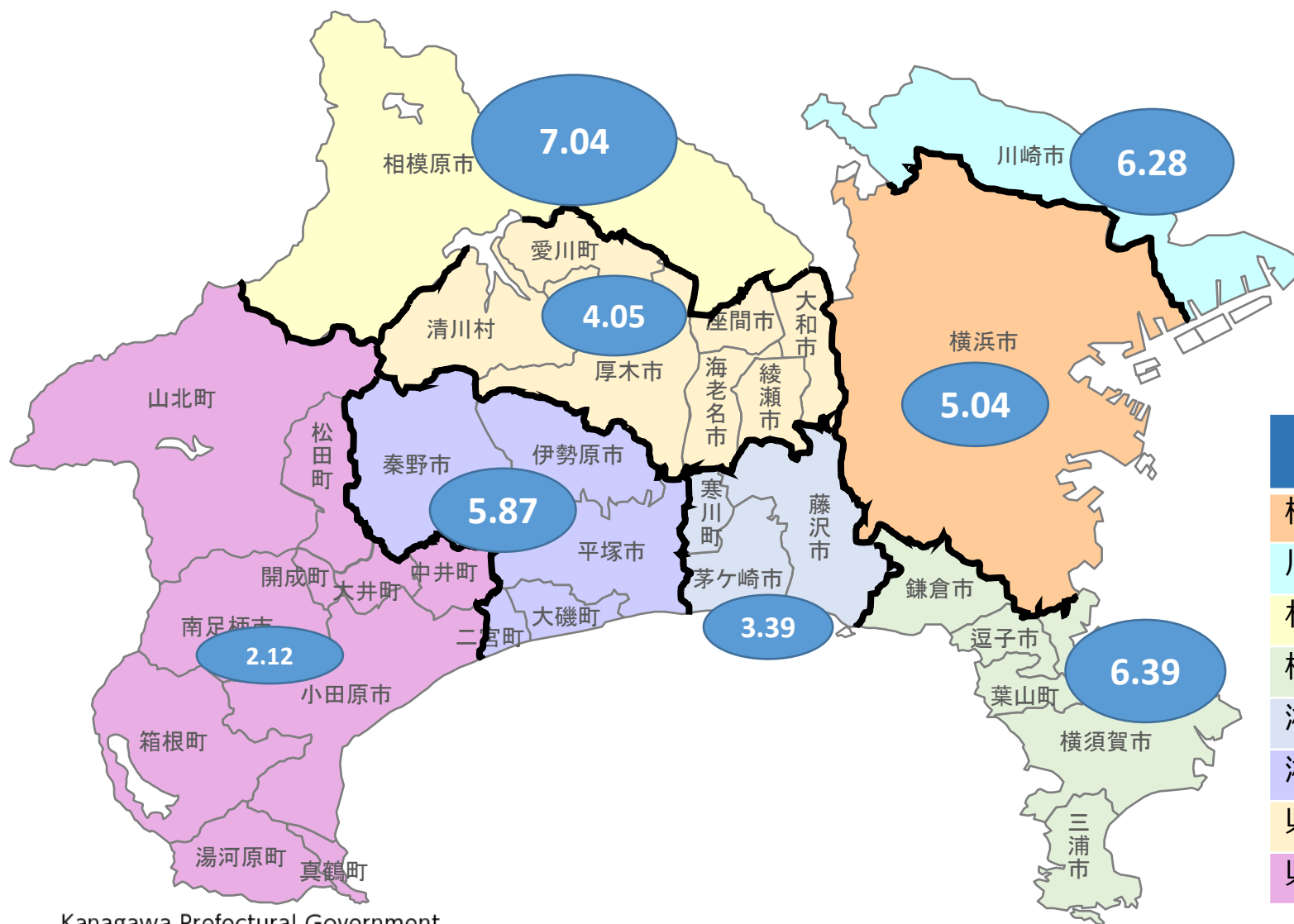
(5) 市町村国保人口1万人対の新規透析導入患者数 (二次保健医療圏別)



Ki

出典: 神奈川県国民健康保険団体連合会提供データを加工

(6) 医療圏別人口10万人対の腎臓専門医数（令和7年度）



Kanagawa Prefectural Government

	腎臓専門医数	人口10万人対
全 国	6,578	5.27
神 奈 川 県	482	5.22

二次医療圏	腎臓専門医数	人口10万人 対
横浜	190	5.04
川崎	97	6.28
相模原	51	7.04
横須賀・三浦	43	6.39
湘南東部	25	3.39
湘南西部	34	5.87
県央	35	4.05
県西	7	2.12

出典：日本腎臓学会の腎臓専門医名簿を基に県がん・疾病対策課が作成

(7) KPIの達成状況

【実績】

(年)	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
新規透析導入患者数	2,351	2,443	2,359	2,311	2,326	2,367					2,166
		92人増加	84人減少	48人減少	15人増加	41人増加			201人減少目標		
糖尿病性腎症	953	955	927	883	841	842					748※
		2人増加	28人減少	44人減少	42人減少	1人増加			94人減少目標		
							※第四期県医療費適正化計画の2029年度目標数値だが、順調にいけば前倒しで達成可能見込				
腎硬化症	420	430	407	439	485	473					418
		10人増加	23人減少	32人増加	46人増加	12人減少			55人減少目標		
慢性糸球体腎炎	323	360	311	338	322	307					
		37人増加	49人減少	27人増加	16人減少	15人減少					
多発性嚢胞腎	84	60	82	75	67	77					
		24人減少	22人増加	7人減少	8人減少	10人増加					